

2008.8.6-8.10 北アルプス・黒部源流・赤木沢 山と野木鳥の会 4人 (TFYK)



折立の登山口



P1870 三角点

8/6 深夜大津発名神と北陸道で富山に 8/7am5 頃亀谷料金所着、6時の開門まで朝食を取りながら待つ 639 折立発 841 P1870 925 P1934 1107-1120 五光岩ベンチ 1219 太郎平小屋



五光岩ベンチ



H2200 あたりの登り

最後の登り



太郎平小屋まではひたすらのぼりだが、途中に P1934 のピークがあり、下つてのぼる場面もある。車で一睡もしないというコンディションでの登りは辛い。途中のお花が救い。5時間半強で小屋到着。コースタイムより 30分強余分にかかっている。

小屋のベンチでさっそく、ビールで乾杯した。5時の夕食までどこかにでかけるでもなく、

ひたすら休養した。



太郎平



太郎平小屋



薬師沢への標識



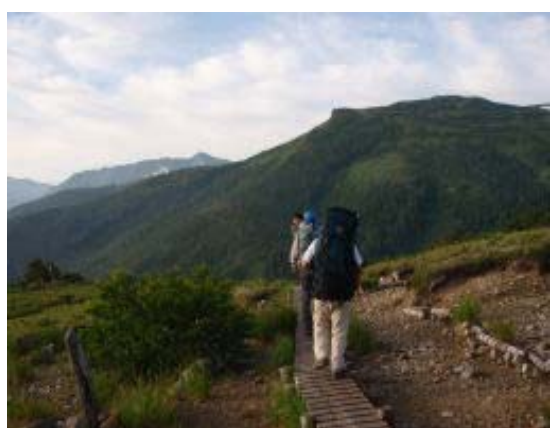
小屋より薬師岳

8/8 602 小屋発 644-658 薬師沢中俣合流点

726-817 左俣 927 薬師沢小屋



薬師沢分岐標識



右に北ノ俣、左に黒部五郎をみながら

今日はコースタイムで2時間強をつりをしながらゆっくりと進む計画。中俣沿いの道に花が多く、久しぶりにキヌガサソウの群落ともご対面した。花の詳細は写真集に記載。左俣でつりタイムをとる。いきなり、いわなが1尾とれたが、続かない。本日はゆったりスケ

ジュールゆえ、コーヒーを味わって飲む。つりは中止し、小屋近辺の薬師沢で再チャレンジとした。



カベツケヶ原



薬師沢小屋



小屋に9:30に到着し、さっそく、今日の労をねぎらってビールで乾杯。11時頃から昼食持参で薬師沢でのつりを楽しむ。いわなが多く見えるが、なかなかつれない。結局大きいいわなが2尾のみ。5時の夕食まで時間があるので再び酒宴となった。この日の夜は翌日の期待と不安で3時間くらいの睡眠しかできなかった。

8/9 545 小屋発 723 赤木沢出合 753 ウマ沢出合 805-820 滝、左岸草つきを高巻き 935-955 大滝で昼食 955-1012 大滝、左岸を高巻き 1017 右俣を通過 1022 左俣を左にみて右にはいる(中俣?) 1110-1137 沢登りをやめ、斜面へ(沢靴を脱ぐ) 1248 稜線(北ノ俣岳と赤木岳の鞍部) 1327 北ノ俣岳 1510-1524 太郎平小屋 1707 P1870 1817 折立 このあと、温泉(白樺ハイツ)にはいり、寿司屋で夕食後、実家で仮眠後翌日 8/10 早朝大津に。

早朝、ヘルメットを着用した別パーティに先んじて出発。ヘルメット軍団はベテランと新人のグループのようだ。彼らは結果的には本流のゴルジュと大滝のみ高巻きした。我々が高巻きした場所はもうひとつ、大きな滝のあったところで左岸の草つきを進んだ。本流のゴルジュも大滝も左岸を高巻きした。大滝の高巻きルートはふたつあったようだ。我々は滝から相当もどったところから高巻きしたが、ヘルメット軍団は大滝の近くの左岸を直登(木があるので難しくはなさそうだ)したようだ。はなしはもとに戻して、まずは奥ノ廊下の様子から。



奥ノ廊下を遡行する



赤木沢出合



赤木沢遡行開始



赤い岩の上を進む

奥ノ廊下は赤木沢出合の手前のゴルジュまでは主として左岸、時々右岸を進む。ゴルジュでは高巻きしかないなと思えるくらい迫力のある流れをしていた。右岸から左岸にうつり、高巻きする。道はしっかりとしていた。出合手前で高巻きを終え、出合の本流のゆったりとした流れとこれから進む赤木沢を観察する。



左岸を高巻きした大きな滝



高巻き中



ヘルメット軍団は滝を登る



小滝を進む



稜線が見えてきた



小滝を進む



大滝は左岸を高巻く

中俣?の入り口

赤木沢は広い谷であり、本当に気持ちがいい。先述したように、大滝を含め、高巻きは2箇所。それ以外は流れを遡って行く。必ずしも、すべて順調とはいわないが、スムーズに

進む。喉が渴けば、沢の水がそのまま飲める。谷の斜面にはニッコウキスゲはじめ、多くの花が咲いている。高巻きするときはシャッターを押したくなってくる。青空ゆえに本当にきれいな景色だ。



中俣？を遡る



赤木岳を振りかえる



広い稜線を歩く



もうすぐ太郎平小屋

大滝に着く。ここで昼食をとり、左岸を高巻く。ほとんど同着のヘルメット軍団は大滝に近い別の高巻きのルート（あとでわかったこと）でクリア。われわれが早く高巻きしたのだが、あっさりと抜かれてしまった。彼らはこのあと、左俣を進んだので、お別れとなった。彼らとは太郎平小屋で再会。

我々は小滝の分岐をこえ、中俣に進んだ。H2350あたりで沢が浅くなり、容易に山の斜面に出れるようになってきた。もう沢はいいだろうとの判断で、靴の履き替えをした。ちょうどこのあたりから雷がなり、雨が降り出してきた。ハイマツを避けつつ、かつ、北ノ俣方向に進んだので、右俣からの道？と合流してしまった。雨の降るなか、稜線につく。赤木岳の南の鞍部が予定であったが、北の鞍部であった。

雨も止み、青空が戻ってきた。北から薬師、赤牛、水晶、鷲羽、三俣蓮華、黒部五郎とよく見える。槍の先端も見える。

太郎平小屋までは 360 度の景色とハクサンイチゲやチングルマの白い広いお花畑を楽しみながら歩く。太郎平小屋の混み具合やいまの時間等を顧慮し、折立まで下りることで合意。太郎平小屋で大休憩のあと、折立に向かった。

折立から太郎平小屋

